

地球環境・地域環境の保全



百五の森

当行は、持続可能な循環型社会をめざし、2006年から「森林保全活動」に取り組んでいます。これまで、三重県内に4か所の「百五の森」を設け、同活動に参加した役職員やその家族が、約3,100本の苗木を植樹しました。

また、2018年5月には、5か所目となる「百五の森(多気町丹生)」において、三重県、多気町、NPO法人と相互に協力し、これまでに2回、当行役員や新入行員が林内整備や遊歩道の整備などの森林保全活動に取り組めました。

森林保全活動の記録



実施年月	活動内容	場所	苗木数	参加者数
2006年10月 2016年 4月	植樹 追加植樹	津市芸濃町 (錫杖湖畔)	広葉樹 計580本	計216名
2008年10月 2014年11月	植樹 追加植樹	津市白山町 (青山高原)	広葉樹 計645本	計210名
2010年11月 2017年 5月	植樹 下草刈り	津市美杉町 (道の駅美杉 隣)	広葉樹 計550本	計277名
2013年 2月 2015年 3月	植樹 追加植樹	伊勢市東豊浜町 (海岸沿いの人口堤)	クロマツ 計1,340本	計427名
2018年 5月 2019年 4月 ~5月	林内整備 遊歩道整備	多気町丹生 (山林)	——	計155名



百五SDGs・ESG融資「サステナブル105」

当行では、環境に配慮した経営を行う法人・個人事業主のお客さまを資金面からお手伝いするため、2010年に百五環境格付融資「エコ・フロンティア」の取扱いを開始しました。

本商品の取扱実績は、これまで累計210件/327億円(2019年9月末時点)となり、2019年10月には、本商品の商品性を拡張した百五SDGs・ESG融資「サステナブル105」の取扱いを新たに開始しました。

本商品は、法人・個人のお客さまのSDGs・ESGへの取組状況に応じて格付評価を行い、金利を優遇する融資商品です。

当行は、本業を通じ、地域の皆さまとともに、環境保全などSDGsへの達成に向けて取り組んでいきます。

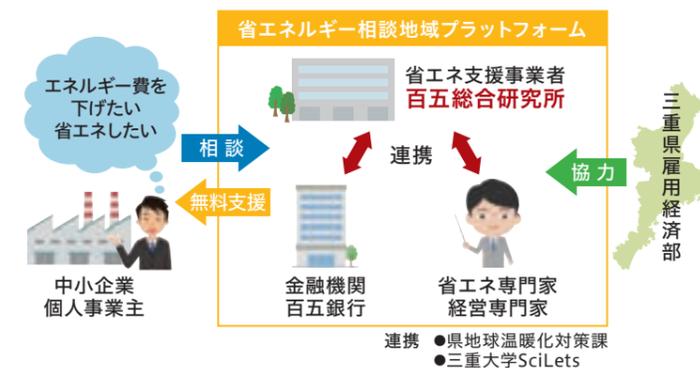


省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業の運営

当行グループ会社の百五総合研究所は、経済産業省「省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業」に参画し、三重県全域の省エネ相談窓口となっています。具体的には、省エネに取り組みたい中小企業などの掘り起こしから省エネ診断、運用改善提案・設備投資などの取組みのフォローアップまで、省エネ取組全般を段階に応じて幅広く支援(無料)しています。

これまでの同研究所における支援件数は、2018年度6件、2019年度14件であり、省エネに取り組むうえで課題となっている「費用」と「専門的人材の不足」を解消し、実質的な利益向上につなげるだけでなく、エネルギー削減による環境配慮への取組みを推進しています。

《株式会社百五総合研究所の取組み》



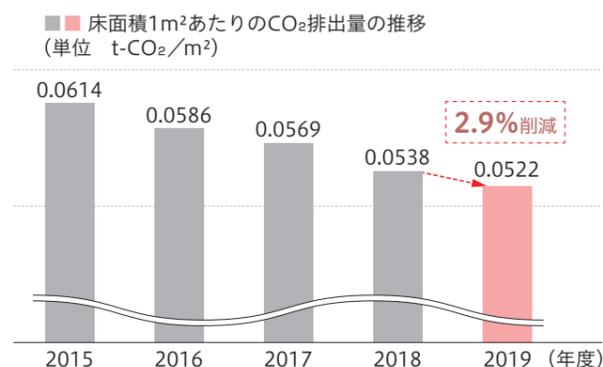
- | 省エネ診断 | 省エネ実施支援 | 取組み後の支援 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの使用状況を把握 省エネ取組項目の提案 | <ul style="list-style-type: none"> 運用改善にかかる体制整備支援など 設備導入にかかる資金計画の策定支援など | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ取組みの効果検証 省エネ実施計画の見直し |

CO₂排出量削減への取組み

当行では、独自に策定した環境保全活動計画のなかで前年度比1%以上の電力使用量削減の目標を掲げ、日常業務における省エネ活動に取り組んでいます。

キャッシュコーナーや営業店執務室の照明のLED化など設備面の省エネ対策のほか、働き方改革による時間外労働の減少などにより、床面積1m²あたりのCO₂排出量は前年度比2.9%の削減となりました。

CO₂排出量



省エネルギー成果事例

①食品会社

性能が異なる複数のボイラの設定見直しにより、無駄なボイラを停止させ高効率なボイラを優先制御することで年間460万円の光熱費削減が見込まれました。

②铸造用耐火物製造会社

乾燥工程で吸排気ファンのアンバランス改善により、ファン動力の低減で年間84万円の光熱費削減が見込まれるだけでなく、臭気の清浄化といった作業環境改善も実現しました。